

聖霊降臨

「炎のような舌が別れ別れに現れ、一人一人の上に止まった。」

—使徒たちの宣教2. 3(より)

皆さん、今日私たちは聖霊降臨を祝っています。

実際、聖霊降臨は復活の極みです。神のご計画は、死んで、復活し、父の右にあげられたキリストが、使徒たちの上に聖霊を送ることにより完成されたのです。聖霊降臨の出来事は、神との新しい契約に結ばれた民の旅立ちを意味しています。ここに、救いの訪れをあかしし、罪のゆるしを宣言する福音宣教の時代が始まるのです。

聖霊は「弁護者」とよばれ、また「真理の霊」と呼ばれます。弱い、そして罪人であるわたしたち人間が、主イエスの福音を宣べ伝えることができるのは、ひとえにこの聖霊の助け、導きを受けているからに他なりません。

実際、聖霊のたまものについて、いろいろな話を聞かれたことがおありだと思います。私たちキリスト者にとって、聖霊は、私たちがキリストのみ跡に従って歩くために、いつも支えてくださるかたです。また、その聖霊のたまものとは、私たちが聖霊の働きかけに素直に従うように促す心構えを指しています。

聖霊は自動的、機械的に働く恵みではありません。聖霊は受ける人々の器に応じて働き、信仰に応じて恵みをもたらします。秘跡の中に働く恵みですが、受ける人々の心の準備の状況に応じて恵みをもたらします。

人には聖霊の働きを妨げる問題が存在しています。聖霊のたまものという言葉を目にしたことがおありでしょう。

聖霊の7つのたまものとは、上知、聡明、賢慮、勇氣、知識、孝愛、主への畏敬の7つです。

私たちは、洗礼の秘跡によって、また堅信の秘跡によって、聖霊の恵みをいただくときに、この7つのたまものもいただいているのです。しかし、このたまものを完全な形でもっておられるのは、イエス・キリストだけです。私たちは、このたまものをいただき、神の勧めに喜んで従い、徳を補足し、完成させるのです。

